

# 郡上農林事務所の普及活動状況

平成 30 年 6 月 30 日

## 今月の重点活動

### ■トルコギキョウ・ユリ 部会勉強会を開催！

ひるがのフラワーサークルでは、構成員の栽培技術向上と品質統一を目指し、定期的に部会別勉強会を開催する事としている。栽培管理が難しくなる夏場を前に、トルコギキョウ部会は6月6日、ユリ部会は6月12日に勉強会が開催された。

今回は、産地で問題となっている高温障害や葉焼け対策として取り組んでいるハウスビニールへの赤外線反射フィルム使用試験を中心に、生産者は場を巡回し生育状況や栽培方法について意見交換を行った。

農業普及課では、現地試験の経過報告や梅雨時期に発生が懸念される灰色かび病対策を中心に、病害虫管理について注意を促した。今後も高品質花き生産が安定的に実現できるよう支援を継続する。



【生育状況の確認】

## 多様な担い手づくり

### ■集落営農 これからの水田農業について協議

郡上農林事務所管内では、県の中山間地域等担い手育成推進事業の重点推進地域として八幡町市島地内林集落と白鳥町前谷集落が選定されており、集落営農を進めている。

6月6日には、八幡町市島地内林集落において集落座談会が開催され、有志農家や関係機関職員13名が出席した。この会では稲作農家の高齢化や農業機械の老朽化に伴う不作付水田の拡大が課題として挙げられ、それを解決するため県事業を活用してどんな活動をするかが議論された。農業普及課もこの議論に参加して市内で活動する農業法人や営農組合の事例紹介をした。

一方、出席した農家からは集落内の水田は地元で守ってゆきたいとの意見が聞かれ、これからも定期的に議論の場を持つ事となった。

今後、農業普及課は集落内の水田農業が継続されるよう、営農体制の構築に向けた支援をしてゆく。



【座談会の様子】

## 売れるブランドづくり

### ■水稻 水稻青空教室を前にJA営農指導員の勉強会を開催

郡上市ではコシヒカリを中心とした稲作が行われており、山間地特有の昼夜の温度差ときれいな水を活かした美味しい米づくりに励んでいる。郡上南部地域（八幡町・美並町・明宝・和良町）では穂肥の施用や斑点米カメムシ防除を控えた7月にJA営農指導員が講師となり、地域内7ヶ所で水稻青空教室が計画されている。ここで説明する内容について統一を図るため、6月26日に営農指導員の勉強会が開催された。

当日はJAめぐみの郡上営農経済センター八幡営業所の営農指導員8名が出席し、農業普及課よりこれまでの気象推移や水稻の生育経過、病害虫の発生予報について説明した。営農指導員からは夏場の高温や台風など異常気象に対応した稲作について質問があり、活発な議論がなされ



【勉強会の様子】

た。

今後、農業普及課では郡上産米ブランド化研究会など良食味米生産グループへの指導や稲作情報の発行を通じて、地場産米の更なる食味向上を進めてゆく。

## 住みよい農村づくり

### ■八幡町川合地区 地域活性化の取り組み

郡上市八幡町川合地区では、高齢化や耕作放棄地の増加が懸念される中、平成 28 年度より山村活性化支援交付金を活用して、地元代表者等で構成される実行委員会が、地域活性化の活動を展開している。

具体的には、ホウノキ・フキ・エゴマを栽培し、地元加工組織への出荷、これらを使った新商品の開発、援農組織への活動支援、地元小学生を対象とした学習会の開催等に取り組んでいる。

6 月 9 日には、ホウノキ剪定研修会が開催され、剪定後の葉を朴葉寿司用に出荷した。6 月 15 日には、地元小学校にてエゴマ学習会が開催され、5 年生 18 名がエゴマの種まきを行った。

なお、農業普及課は実行委員会のメンバーとして参画しており、栽培指導や企画運営等を支援している。



【研修会・学習会の様子】